

5-8

感染予防実践で編み出した取り組み

手洗い洗い残しのチェック法・二次感染防止の7つ道具

視覚で納得

備え

特別養護老人ホーム みずべの苑保険看護部門

看護師 池田 利英子

看護師 平野 千恵子

東京都北区志茂 3-6-13

看護師 山田 恵巳

TEL : 03-3598-2111

E-mail Tokuyou@Ma.Kitanet.Ne.Jp

FAX : 03-3598-9903

URL <http://www.urara.or.jp/>

今回の発表の施設
またはサービスの
概要 10p

社会福祉法人うらら、みずべの苑は、平成13年4月に開設。50床の特養、10床のショートステイ、デイサービス、在宅介護支援センター、訪問介護、居宅介護支援事業所を併設する高齢者総合福祉施設です。看護師は、入居者及び職員健康管理を担当しています

<取り組んだ課題>

- 1、感染予防の基本の手洗いの実践
洗い残しのチェックと評価方法の取り組み
- 2、二次感染防止で感染防止の七つ道具
(ノリ付)処理をもとに
すぐに活用できる方法の取り組みと実践

<具体的な取り組み>

- 1、手洗いの基本講習を実践した
 - 手洗いの洗い残しチェック方の試行錯誤の経過
2003年 寒天培地使用 ・墨汁使用
2004年 朱墨使用
2005年 デンプンのりとイソジノール液使用
 - 手洗いの洗い残しのチェック方法の手順
 - ①デンプンのりを手全体に塗り乾かす
 - ②基本的手洗いをし、ペーパータオルで拭く
 - ③希釈したイソジノール液をスプレーする。
 - ④洗い残ったデンプン部分が紫色になる。
 - 新人職員研修・感染予防講習・感染予防週間で実践し効果的な手洗いを身をもって認識した。
- 2、○ ノリ付の二次感染を防ぐため 嘔吐、排泄物処理を手際よくできるための7つ道具を考案した
 - ・「クリーンカート」の制作
 - ・制作費 カート1台 1500円~2000円
簡単に手に入り・低価格で便利なもの
 - 制作は現場の評価を受けて改良し実用化。

<活動の成果と評価>

- 1、手洗いのデンプンのりチェック法により個々の洗い残し部位が視覚で判り当事者が納得できた。定期的感染予防強化週間において基本的手洗いの確認と重要性を見直すことにより感染予防の意識の向上になった。
職員同志がわくわくしながら手洗いのチェックをする事でコミュニケーションも深まった。感染予防の意識向上により2005年度は特養入居者のノリ付、ノリ付等感染はゼロになった。
- 2、二次感染防止の7つ道具「クリーンカート」は必要物品が備わり、排泄物の持ち運びに便利。後始末が簡単で爽やかな色で外観も悪くない。
職員の評価から現在は二次感染用「クリーンカート」とは別に常時排泄交換用として使用するようになり効果をあげている。

<今後の課題>

- 1、デンプンのり手洗いチェック法は感染予防の意識を向上させる1方法であるにすぎない。感染予防対策において感染しにくい免疫力を高めることも考えていきたい。
- 2、クリーンカートは、物品の寄せ集めで制作したもので接続部の強化等課題が残る。